

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)			
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある
事業		スポーツ推進					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		生涯学習スポーツ課					事業の成果・分析		・スポーツ推進委員定例会では、市の関連事業（夏期巡回ラジオ体操や市民体育祭）の概要について説明し、運営方法について多くの御意見をいただいた。 ・埼玉県スポーツ推進委員連絡協議会が主催する研修会及び理事会にスポーツ推進委員が出席し、他市との意見交換及び情報共有を行った。 ・南部支部南地区スポーツ推進委員交流会（例年はスポーツ推進委員講習会を実施）では、他市のスポーツ推進委員連絡協議会を招待し、ニュースポーツの普及及び他市との情報共有を行った。	
事業概要		スポーツ推進委員を委嘱し、市民のスポーツ・レクリエーションの普及を図るとともに、スポーツ分野での活躍者を市民に周知するなど、スポーツ推進を図る。								
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他								
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☒ 国・県の制度＋市独自の制度 ☐ 市独自の制度								
根拠法令等		スポーツ基本法、新座市スポーツ推進委員に関する規則								
2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）		2,019,000							
	財源内訳	一般財源	2,019,000							
		特定財源	0							
	支出済額（円）		1,699,584							
	不用額等（円）		319,416							
執行率（％）		84.18%								
実施内容		市民のスポーツ・レクリエーションの普及を図るため、スポーツ推進委員交流会及び定例会を実施した（スポーツ推進委員29名）。 ・スポーツ推進委員定例会（内容：夏期巡回ラジオ体操、市民体育祭、南部支部南地区スポーツ推進委員交流会） ・埼玉県スポーツ推進委員理事会及び研修会 ・スポーツ推進委員講習会 ※令和5年度については南部支部南地区スポーツ推進委員交流会を実施					今後の取組方針		今後も引き続きスポーツ推進委員定例会及び講習会を実施し、スポーツ・レクリエーション活動の普及に努めていく。 また、埼玉県スポーツ推進委員連絡協議会が主催する研修会及び理事会に出席し、他市との連携を強化していく。	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	スポーツ推進委員定例会	回	4							
	埼玉県スポーツ推進委員理事会及び研修会	回	4							
	スポーツ推進委員講習会	回	1							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)				
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興					事業の効率性【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある	
事業		スポーツ教室					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		生涯学習スポーツ課					事業の成果・分析		立教スポーツ教室の開催にあたり、立教大学担当者と密な連携を取りながら事業の準備及び運営を行うことができたが、事業の周知や選定の検討には課題が残った。		
事業概要		市内大学との連携によるスポーツ教室の開催により、市民の運動・スポーツの機会の創出及び健康維持・増進並びに市内スポーツの振興を図る。									
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他									
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度									
根拠法令等		なし									

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	204,000								
	財源内訳	一般財源	204,000							
		特定財源	0							
	支出済額（円）	202,107								
	不用額等（円）	1,893								
執行率（％）		99.07%								
実施内容		市内大学と連携し、スポーツ教室を開催することにより、市民の運動・スポーツの機会の創出及び市内スポーツの振興を図った。また、スポーツ教室申込申請事務及び市HPでの周知を行った。 ・立教スポーツ教室を実施（乗馬教室、野球、サッカー、テニス）					今後の取組方針			参加人数については、定員割れしている種目があるため事業周知を強化するとともにニーズのある種目選定を検討する。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	立教スポーツ教室	種目	4							
	参加人数	人	185							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）		
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第6節 スポーツ・レクリエーション	事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策1 スポーツ・レクリエーションの振興	事業の効率性【見直す余地】	B	A：余地はない B：余地はある
事業	学校開放	施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	生涯学習スポーツ課	事業の成果・分析	市内小学校校庭を開放し、子どもたちが屋外で自由に遊ぶことのできる場所を提供し、市民のニーズに対応した。 参加人数については向上の余地があるため、事業周知の強化を図る。	
事業概要	市内小学校の校庭を開放し、市民の運動・スポーツの機会の創出及び健康維持・増進並びに市内スポーツの振興を図る。			
実施形態	■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他			
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度			
根拠法令等	新座市立学校施設の開放に関する規則			

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅱ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額 (円)	1,939,000						
	財源内訳	一般財源	67,000					
		特定財源	1,872,000					
	支出済額 (円)	1,843,336						
	不用額等 (円)	95,664						
	執行率 (%)	95.07%						
実施内容		毎月第三土曜日の午前9時から正午までの時間帯において市内全小学校校庭を開放し、一般利用者の遊び場を提供した。 また、市HP及び広報を用いて事業の周知を行った。					今後の取組方針	本事業を市民に浸透させるため、引き続き事業を実施する。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
活動指標・成果指標	指標名	単位						
	実施場所	校	17					
	利用者数	人	1,167					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）		
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第6節 スポーツ・レクリエーション			
施策項目	施策1 スポーツ・レクリエーションの振興	事業の必要性 【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業	市民総合体育大会			
所属	生涯学習スポーツ課	事業の効率性 【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
事業概要	広く市民の間にスポーツを普及させるとともにスポーツ精神を高揚し、市民の健康増進を図るため、毎年、市内の各運動施設で市民総合体育大会を開催するもので、公益財団法人新座市スポーツ協会加盟団体により21競技22種目を実施する。			
実施形態	☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他	施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
実施根拠	☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度			
根拠法令等	なし	事業の成果・分析		受注者による適切な事業の運営・管理が行われた。

2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）		
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
予算・決算	予算現額（円）		5,235,000						
	財源内訳	一般財源	5,235,000						
		特定財源	0						
	支出済額（円）		5,043,500						
	不用額等（円）		191,500						
	執行率（％）		96.34%						
実施内容			受注者である（公財）新座市スポーツ協会が事業の運営・管理を行った。 21競技22種目の競技を実施した。				今後の取組方針	今後も引き続き、市民に対してスポーツを普及させるとともに健康増進を図るため、受注者と連携して事業の実施を行う。	
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			令和9年度
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	参加団体	団体	21						
	参加人数	人	5,860						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)					
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション				事業の必要性【市民ニーズ】		A		A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興				事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある	
事業		スポーツ協会補助				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		生涯学習スポーツ課				事業の成果・分析				市民のスポーツ・レクリエーション振興を目的とした公益財団法人新座市スポーツ協会に対して補助を行い、団体の活動費として活用していただくことができた。	
事業概要		スポーツ・レクリエーション関係24団体で構成される公益財団法人新座市スポーツ協会に対し、普及啓発に関する事業費及び人件費について補助を行う。									
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他									
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度									
根拠法令等		団体等に交付する補助金等交付要綱、新座市補助金等の交付に関する規則									

2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)					
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		23,111,000								
	財源内訳	一般財源	23,111,000								
		特定財源	0								
	支出済額 (円)		23,111,000								
	不用額等 (円)		0								
	執行率 (%)		100.00%								
実施内容			スポーツ・レクリエーション関係24団体で構成される公益財団法人スポーツ協会に対し、普及啓発に関する事業費及び人件費について補助を行った。 補助団体数：1団体 補助額：23,111,000円								
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	指標名	単位									
活動指標・成果指標	補助団体数	団体	1								
	補助額	円	23,110,000								
今後の方向性		Ⅲ	Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了								
			時勢とともに地域のスポーツ活動は変化しており、部活動地域移行等の新たな課題も生じている。 公益法人である新座市スポーツ協会が本市のスポーツ・レクリエーション振興の核となり地域課題の解決に貢献できるよう支援していく。								
今後の取組方針											

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)	
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション				事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興				事業の効率性【見直す余地】	B A：余地はない B：余地はある
事業		新座快適みらい都市市民まつり				施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		生涯学習スポーツ課				事業の成果・分析	市民のふれあいの場とふるさとづくりを促進するとともに、町内会同士の情報共有や結びつきを深め、町内会活動の更なる活性化をすることができた。 参加町内会数についても昨年度と比較して増加している。
事業概要		市民のふれあいの場とふるさとづくりを促進し、地域コミュニティとふるさと意識の高揚を図るため、市民参加によって開催される新座快適みらい都市市民まつり市民体育祭実行委員会に対し、事業費の補助を行う。 なお、令和6年度は実施会場の陸上競技場が改修工事のため中止予定としている。					
実施形態		■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他					
実施根拠		□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度					
根拠法令等		市民体育祭実行委員会要綱					

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅱ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）	3,100,000							
	財源内訳	一般財源	3,100,000						
		特定財源	0						
	支出済額（円）	2,643,224							
	不用額等（円）	456,776							
執行率（％）	85.27%								
実施内容		(公財)新座市スポーツ協会、町内会連合会、スポーツ推進委員及び教育委員会事務局の中から選出された委員で実行委員会を構成し、市民体育祭の企画・運営を行った。					今後の取組方針	現状では市民体育祭実行委員会の事務を生涯学習スポーツ課が担当しているが、実行委員会で中心的な役割を担う（公財）新座市スポーツ協会へ事務を移管することについて検討の余地がある。	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	参加町内会数	町内会	23						
	参加人数	人	1,600						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）	
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第6節 スポーツ・レクリエーション		
施策項目	施策1 スポーツ・レクリエーションの振興	事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
事業	市民総合体育館運営管理		
所属	生涯学習スポーツ課	事業の効率性【見直す余地】	B A：余地はない B：余地はある
事業概要	市民総合体育館に係る運営管理を行う。 公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者とする（令和4年度～令和6年度）。		
実施形態	■市が直接実施 ■一部委託 ■全部委託・指定管理 □その他	施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度		
根拠法令等	新座市スポーツ施設条例、新座市スポーツ施設規則	事業の成果・分析	小規模な施設修繕や物品修繕の対応は、市が対応するよりも施設の維持管理を専門としている指定管理者が対応した方が、より迅速で効率的な対応が見込まれる。指定管理者で対応することについて、検討の余地がある。 また、運動施設使用料還付金事務についても、利用料金制の採用による指定管理者の事務とすることで、より効率的な対応が見込まれる。

2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）			
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅱ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）		126,858,000							
	財源内訳	一般財源	114,419,000							
		特定財源	12,439,000							
	支出済額（円）		117,284,538							
	不用額等（円）		9,573,462							
	執行率（％）		92.45%							
実施内容			指定管理者である公益財団法人新座市スポーツ協会が、スポーツ施設の運営、維持管理、主催事業の開催等を行った。 また、指定管理者による管理運営の他、軽微な修繕等について市が直接実施した。				今後の取組方針	指定管理者による対応が可能なものはできる限り指定管理者で対応できるよう、引き続き指定管理者と連携しながら、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図り、魅力ある施設の運営、適切な維持管理を行っていく。		
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			令和9年度	
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	利用件数（総合体育館全施設）	件	29,281							
	指定管理料	円	117,712,100							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)						
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず		
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション					事業の必要性【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている		
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興					事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある		
事業		福祉の里体育館運営管理					施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い		
所属		生涯学習スポーツ課					事業の成果・分析				委託業者により、適切に業務が行われ、市民のスポーツ・レクリエーション振興が図られた。		
事業概要		福祉の里体育館に係る運営管理を行う。											
実施形態		☐ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託・指定管理 ☐ その他											
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度											
根拠法令等		新座市スポーツ施設条例、新座市福祉の里体育館規則											

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)								
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性		Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了	
予算・決算	予算現額 (円)		970,000												
	財源内訳	一般財源	13,000												
		特定財源	957,000												
	支出済額 (円)		967,381												
	不用額等 (円)		2,619												
執行率 (%)		99.73%													
実施内容		福祉の里体育館の案内受付、使用料徴収、施設維持管理業務等は公益財団法人新座市シルバー人材センターに委託した。					今後の取組方針								
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					令和8年度		令和9年度		
	指標名	単位													
活動指標・成果指標	利用件数	件	1,064												

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)			
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション					事業の必要性【市民ニーズ】		B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興					事業の効率性【見直す余地】		B	A：余地はない B：余地はある
事業		体育施設運営管理					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		生涯学習スポーツ課					事業の成果・分析		小規模な施設修繕や物品修繕の対応は、市が対応するよりも施設の維持管理を専門としている指定管理者が対応した方が、より迅速で効率的な対応が見込まれる。指定管理者で対応することについて、検討の余地がある。 また、運動施設使用料選付金事務についても、利用料金制の採用による指定管理者の事務とすることで、より効率的な対応が見込まれる。	
事業概要		体育施設に係る運営管理を行う。 公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者とする（令和4年度～令和6年度）。								
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他								
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度								
根拠法令等		新座市スポーツ施設条例、新座市スポーツ施設規則								

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		II	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	98,537,000								
	財源内訳	一般財源	80,769,000							
		特定財源	17,768,000							
	支出済額（円）	96,811,506								
	不用額等（円）	1,725,494								
	執行率（％）	98.25%								
実施内容		公益財団法人新座市スポーツ協会を指定管理者として、屋外スポーツ施設の管理運営を行った。 なお、スポーツ施設の土地賃貸借業務や学校施設夜間照明の電気料支払事務等は市が直接実施した。					今後の取組方針			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	体育施設等指定管理料	円	47,435,647							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)			
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション					事業の必要性【市民ニーズ】		A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある
事業		体育施設整備					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		生涯学習スポーツ課					事業の成果・分析		市内スポーツ施設は老朽化が進行しており、施設利用者の安全性や利便性の向上等を考慮すると改修工事や備品の更新などの対応が必要な施設及び設備が複数あるため、事業の必要性は高まっている。	
事業概要		体育施設利用者及び入場者の安全管理や利用促進を図るため、施設の改良改修工事を行う。								
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他								
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度								
根拠法令等		新座市スポーツ施設条例、新座市スポーツ施設規則								

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	99,217,000								
	財源内訳	一般財源	29,797,000							
		特定財源	69,420,000							
	支出済額（円）	72,979,091								
	不用額等（円）	26,237,909								
執行率（％）		73.56%								
実施内容		体育施設利用者の安全管理や利用促進を図るため、施設の改良改修工事及び設備備品の購入等を行った。 主な実施事業 ・総合運動公園陸上競技場改修工事 ・総合運動公園野球場B SO表示器改修工事 ・総合運動公園陸上競技場ハードル等購入					今後の取組方針			指定管理者と連携しながら、対応すべき施設や設備の優先順位を検討し、引き続き施設の改修や備品の更新を進めていく。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
	指標名	単位								
活動指標・成果指標	工事件数	件	5							
	工事金額	円	60,829,791							

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)							3 事業評価 (Check)			
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】					事業の実施状況		B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第6節 スポーツ・レクリエーション					事業の必要性【市民ニーズ】		A	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 スポーツ・レクリエーションの振興					事業の効率性【見直す余地】		A	A：余地はない B：余地はある
事業		体育施設用地取得					施策への貢献度		A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		生涯学習スポーツ課					事業の成果・分析		市内のスポーツ施設の多くが借地であり、地権者の高齢化による相続対策が課題となっている。 相続により借地の買取要望は今後も高まっていくと思われる。	
事業概要		馬場運動場用地の地権者が逝去され、相続人から用地売却の意向があったことを受け、当該用地を購入する。								
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他								
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度								
根拠法令等		なし								

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)			
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性		Ⅲ	I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了
予算・決算	予算現額（円）	180,953,000								
	財源内訳	一般財源	45,253,000							
		特定財源	135,700,000							
	支出済額（円）	180,952,292								
	不用額等（円）	708								
執行率（％）		100.00%								
実施内容		馬場運動場用地地権者の相続発生に伴い、当該地権者の申出により、賃貸借契約を締結していた馬場運動場用地の買取を実施した。 金額：180,952,292円					今後の取組方針			地権者の相続に伴う借地の買取要望は今後も発生する可能性が十分あるため、引き続き、対応が必要となった際には財政部と調整しながら予算の確保及び事務の執行を進めていく。
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度				
活動指標・成果指標	指標名	単位								
	買取金額	円	180,952,292							
	買取面積	m	4546.54							